

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 27年3月 13 日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/13 11:00 時点)

| 号機  | 注水状況      |                                 | 原子炉压力容器<br>下部温度 | 原子炉格納容器<br>圧力 | 原子炉格納容器<br>水素濃度 |      |
|-----|-----------|---------------------------------|-----------------|---------------|-----------------|------|
| 1号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心スプレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h | 15.3 °C         | 4.2 kPa g     | A系： 0.03        | vol% |
|     |           | 給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h     |                 |               | B系： 0.03        | vol% |
| 2号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心スプレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h | 20.8 °C         | 2.44 kPa g    | A系： 0.05        | vol% |
|     |           | 給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h     |                 |               | B系： 0.04        | vol% |
| 3号機 | 淡水<br>注入中 | 炉心スプレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h | 18.1 °C         | 0.21 kPa g    | A系： 0.07        | vol% |
|     |           | 給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h     |                 |               | B系： 0.07        | vol% |

- 【2号機】・H26/2/18 原子炉压力容器温度計(T-E-2-3-69R)の点検において、絶縁抵抗測定を実施したところ、0オーム(Ω)を指示することを確認。その後の評価により、温度計に短絡が発生しているものと推定され、原子炉压力容器温度監視機能を発揮できていない状態と判断。当該温度計は原子炉压力容器底部温度を監視していたが、近傍にある温度計(T-E-2-3-69H3)により監視することが可能。原因については、絶縁抵抗測定時の誤った電圧の印加と判断。
- 4/17、18 準備が整ったことから、2号機原子炉压力容器温度計(T-E-2-3-69R)の引き抜き作業を実施したが、温度計は引き抜けず、作業を一旦中断。最終リークチェックを実施し、今後、引き抜き方法について検討予定。
- H27/1/14～ 引き抜き方法について、モックアップ試験を実施し、引き抜き力緩和効果が確認できたため、引き抜き作業(準備含む)を再開。
- 1/19 2号機原子炉压力容器温度計(TE-2-3-69R)の引き抜き作業を実施し、引き抜けたことを確認。
- 3/12～3/13 モックアップ装置を用いた習熟訓練等を実施し、準備が整ったことから、新規温度計の再挿入作業を実施。今後1ヶ月を目安に、既設の原子炉压力容器底部温度計の指示値との相関、原子炉への注水状況や外気温変動等の状況に応じた挙動を示しているかを確認予定。

## <2. 使用済燃料プールの状況> (3/13 11:00 時点)

| 号機  | 冷却方法     | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 13.0 °C     |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 27.0 °C     |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 21.0 °C     |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中  | 7.8 °C      |

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

| 号機  | 排出元           | → | 移送先                | 移送状況               |
|-----|---------------|---|--------------------|--------------------|
| 2号機 | 2号機<br>タービン建屋 | → | 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋) | 3/2 10:25 ~ 移送実施中  |
| 3号機 | 3号機<br>タービン建屋 | → | 集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋) | 3/11 10:48 ~ 移送実施中 |

#### <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/13 11:00 時点)

| 設備   | セシウム吸着装置 | 第二セシウム吸着装置(サリー) | 淡水化装置(逆浸透膜)  | 淡水化装置(蒸発濃縮)  | 多核種除去設備(ALPS) | 増設多核種除去設備 | 高性能多核種除去設備 |
|------|----------|-----------------|--------------|--------------|---------------|-----------|------------|
| 運転状況 | 運転中*1    | 運転中*1           | 水バランスをみて断続運転 | 水バランスをみて断続運転 | ホット試験中*2      | ホット試験中*2  | ホット試験中*2   |

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

#### <5. その他>

- H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。  
H27/2/14~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。  
H27/2/24~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。

- H26/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。

- H27/3/13~ 海側遮水壁設置工事では、現状、鋼管矢板9本が未打設、打設済み鋼管矢板の25箇所継手で止水処理が未実施だが、打設済み鋼管矢板の25箇所継手について、作業準備が整ったことから、止水処理を再開。  
なお、未打設の鋼管矢板9本については、関係者へのご説明を行い、ご理解を頂いた後に打設作業を実施する。

- H27/3/16~ 1号機原子炉建屋カバー解体工事に向けて準備工事を開始予定。

#### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1~12 のサンプリングを継続実施中。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

##### <H4エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

##### <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

##### <H6エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

##### <地下水観測孔サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

##### <地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上